

森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～のポイント

追い風

- ※ **木材** ・ 環境に配慮した企業経営等が求められる中、木材利用への期待大
- ・ 非住宅・中高層向け部材の開発の進展
- ※ **林業** ・ 建築用材に占める国産材割合が上昇して過半に
- ・ ICTやAI等によるスマート林業技術が進展
- ※ **森林** ・ リモートセンシングの活用が進展
- ・ 人工林（面積：世界6位）の6割が利用可能

課題

- ※ **木材** ・ 住宅需要は下がり基調、非住宅・中高層の木造化は低位
- ・ 木材の大径化に対応した施設整備、需要創出が必要
- ※ **林業** ・ 森林所有者の関心の低下、所有者不明、境界不明
- ・ 高い労働災害発生率、低い採算性
- ※ **森林** ・ 林業適地での再造林が不十分
- ・ 豪雨の増加、林野火災、クマ被害
- ※ **その他** ・ 再造林が考慮されておらず、輸入材主導の低い木材価格

新計画 森林・林業・木材産業の好循環による「森の国・木の街」の実現

「森の国・木の街」の実現に向け、関係者が将来に希望を持って新たな取組に挑戦できるよう、民間活力の積極的な活用を図りつつ、施策を集中し、機動的な実施を図ることにより、森林・林業・木材産業の次の百年の礎を築いていく

林業・木材産業の成長の実現

○ 国産材の利用拡大と幅広い需要の創出

- ・ SHK制度やLCCO₂等による国産材利用効果の見える化
- ・ 都市の木造化の多角的推進（非住宅・中高層建築物等）
- ・ 大径材、広葉樹材等を活用した内装材等の需要創出
- ・ CLT、ツーバイフォー材等の製品輸出の戦略的拡大
- ・ 木育の推進 ・ 木質系新素材の開発・実装



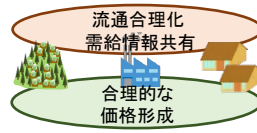
○ 需要に応じた国産材の供給力強化

- ・ 施設の生産力強化、工場間連携、ストック機能強化
- ・ JAS製材設備、大径材対応設備等の戦略的整備
- ・ 地場の中小工場等による高付加価値製品の持続的供給確保



○ 強靱なサプライチェーンの構築

- ・ 再造林コストや森林・木材の持続性に関する情報の共有・相互理解、合理的な価格形成
- ・ ICT等による原木流通コーディネート機能の強化



○ スマート林業技術の実装等による持続的な林業の確立

- ・ 安全確保や生産性向上に向けた遠隔操作や自動運転機械等の実装
- ・ 所得向上のためのキャリアに応じた昇給の実現
- ・ 労働環境の改善に向けた関係者の意識改革の徹底
- ・ 新規事業者も含めた多様な主体の育成・確保



○ 森業等による山村地域の自立的・持続的発展

- ・ 山村所得向上や豊かな森林づくりにつながる森業の推進
- ・ 関係人口の創出・拡大



○ ゾーニングと集積・集約化の加速

- ・ ゾーニング等による林業適地での確実な再造林
- ・ 林業適地における路網整備等への支援の重点化
- ・ 境界明確化や情報透明化等に向けたリモートセンシングとAIの活用
- ・ 外縁確定型の普及、森林経営管理法の最大限の活用



国民の安全・安心の確保

○ 国民の安全・安心を根底から支える多様で健全な森林づくり

- ・ 国土強靱化に向けた森林整備・治山対策の強化
- ・ 延焼しにくい多様な林相への誘導、林野火災に係る広報等の強化

- ・ 効率的な病虫害・鳥獣害対策、クマ等の生息環境の保全・整備
- ・ 花粉の少ない森林への転換
- ・ 原生的な天然林等は引き続き適切に保護管理



※新たに具体的な成果指標(KPI)を設定し、PDCAによる施策の見直しに活用